

Bibliographic data: JP 2001351050 (A)

CARD LOSS/ROBBERY NOTIFICATION PROCESSING SYSTEM FOR QUICKLY NOTIFYING
LOSS/ROBBERY OF CARD SUCH AS CASH CARD, CREDIT CARD AND DEBIT CARD, RECORDING
MEDIUM WITH RECORDED NOTIFICATION PROCESSING PROGRAM AND NOTIFICATION
PROCESSING METHOD

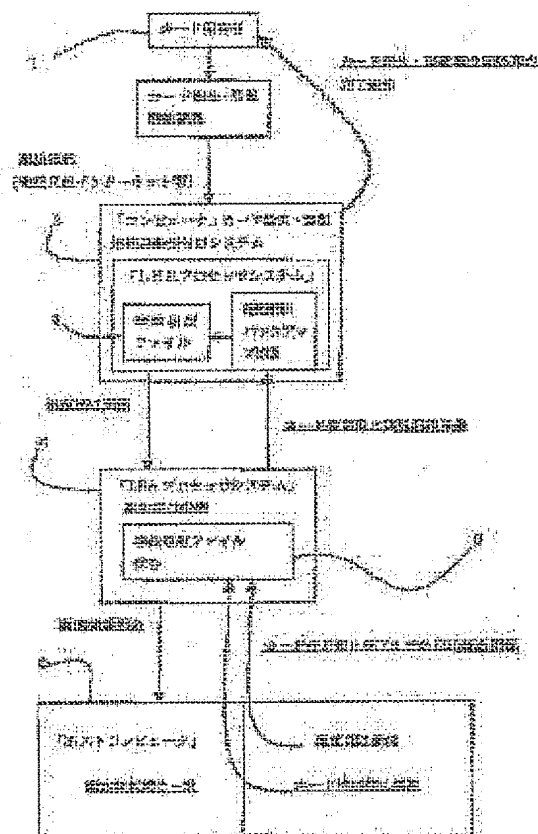
Publication date: 2001-12-21
Inventor(s): NAKATSURU SHIGERU +
Applicant(s): NAKATSURU SHIGERU +
Classification: - international:
- european:
Application number: JP20000205823 20000605
Priority number(s): JP20000205823 20000605

- international: G06Q20/00; G06Q40/00; (IPC1-7): G06F17/60
- european:

Application number: JF20000205823 20000605
Priority number(s): JF20000205823 20000605

Abstract of JP 2001351050 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To quickly and surely execute processing from the report of an accident such as the loss/robbery of a card issued from a bank system/non-bank system up to the stop of card usage. **SOLUTION:** The system is provided with a processor (hereafter referred to as LBR processor) for notifying the Loss/robbery of a card and a processor (hereafter referred to as LBA processor) for receiving the notification of loss/robbery. At the time of receiving the report of an accident such as the loss/robbery of a card from a card owner by a communication means through a telephone or an on-line communication means such as the Internet, a date is recorded in a notification processing file of the LBR processor and the record of the accident is automatically transmitted to the LBA processor through the on-line. The LBA processor collates the received information of the card owner with the customer registration information of a card issuing company, and when both the contents of information coincide with each other, the notification of the card loss/robbery accident is validated and card usage stop processing is executed. The date up to the completion of card usage stop is sent from the LBA processor storing the date in an accident processing file to the LBR processor and the information of the accident notification file is updated and stored in both the processors.



Last updated:

26.04.2011 Worldwide Database 5.7.23; 92p

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-351050
(P2001-351050A)

(43) 公開日 平成13年12月21日 (2001. 12. 21)

(51) IntCl. ⁷	識別記号	F I	ターム(参考)
G 0 6 F 17/60	4 1 6 2 2 0	G 0 6 F 17/60	4 1 6 5 B 0 5 5 2 2 0

審査請求 未請求 請求項の数10 書面 (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2000-205823(P2000-205823)

(22) 出願日 平成12年6月5日(2000. 6. 5)

(71) 出願人 500320774

中津留 茂

東京都江戸川区中葛西3丁目35番14-406号

(72) 発明者 中津留 茂

東京都江戸川区中葛西3丁目35番14-406号

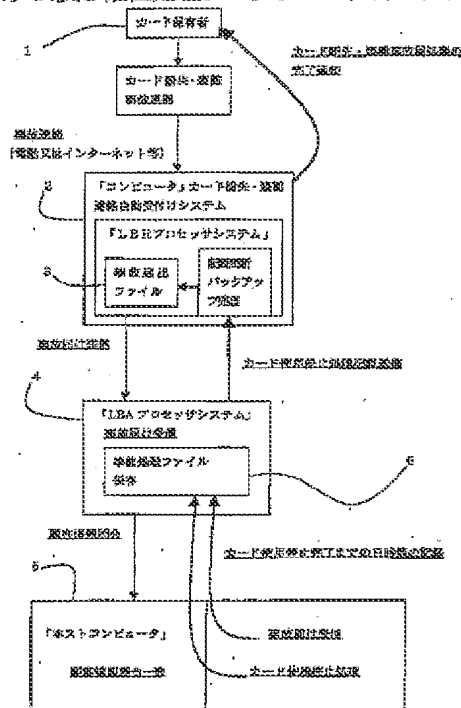
Fターム(参考) 5B055 CC00 EE01 EE27 FA00 FB00
JJ00 KK00

(54) 【発明の名称】 キャッシュカード及びクレジットカード及びデビットカード等のカード紛失・盗難時の届出を迅速に行うための、カード紛失・盗難届出処理システム及び届出処理プログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 銀行系・非銀行系発行のカード紛失・盗難時の事故連絡からカード使用停止までの迅速で確実な処理を図る。

【解決手段】 カード紛失・盗難届出用のプロセッサと（以下LBRプロセッサと称す）、紛失・盗難届出受理用のプロセッサ（以下LBAプロセッサと称す）を設け、カード保有者からのカード紛失・盗難事故連絡を電話による通信手段又はインターネット等のオンライン通信手段の何れかの通信手段により受付けた時点で、LBRプロセッサの届出処理ファイルに日時を記録し、LBAプロセッサへ事故記録をオンラインで自動送信する。LBAプロセッサは受信したカード保有者の情報とカード発行会社の顧客登録情報とを照合し一致した時点で、カード紛失・盗難事故の届出を有効にしカード使用停止処理を行う。カード使用停止完了までの日時を事故処理ファイルに保存したLBAプロセッサからLBRプロセッサに返信し事故届出ファイルの情報を更新し相互で保存する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】銀行系及び非銀行系の会社が発行するキャッシュカード・クレジットカード・デビットカード・キャッシング専用カード・ショッピングカード（以下カードと称す）の紛失・盗難届出用のプロセッサ（以下LBRプロセッサと称す）とカード紛失・盗難届出受理用のプロセッサ（以下LBAプロセッサと称す）を設け、カード保有者より紛失・盗難の事故連絡を、電話による通信手段又は、インターネット等を利用したのオンライン通信手段の何れかの通信手段により受付けた時点で、自動的に前述のLBRプロセッサの事故届出ファイルに前述のカード保有者のカードナンバー等の情報と、カード紛失・盗難事故の届出日時を記録し、前述のLBAプロセッサにオンラインで事故記録を自動送信しカードの使用停止処理を行い、カード紛失・盗難の届出を有効にする手段を有することを特徴とするカード紛失・盗難事故届出処理システム。

【請求項2】前記カード紛失・盗難届出処理システムは、前記カード保有者が紛失・盗難時に所持していた複数枚のカードの紛失・盗難事故の連絡を、電話による通信手段又は、インターネット等を利用したのオンライン通信手段の何れかの通信手段により一括して受付けた時点で、自動的に前記カード保有者のカードナンバー等の情報とカード紛失・盗難事故の届出日時を前記LBRプロセッサの事故処理ファイルに記録し前記LBAプロセッサにオンラインで自動送信し複数のカード発行会社のカード紛失・盗難事故の届出処理を同時に行い一括して複数枚のカード使用停止処理を図る手段を有することを特徴とする請求項1に記載のカード紛失・盗難事故届出処理システム。

【請求項3】前記LBAプロセッサは前記LBRプロセッサから受信した前記カード保有者のカードナンバー等の情報をカード発行会社の顧客登録情報と照合し一致した時点で、カード紛失・盗難事故の届出日時を有効にし、カードの使用停止処理を図り、カード紛失・盗難事故の届出処理から使用停止処理が完了するまでの日時等を事故処理ファイルに記録する手段を有することを特徴とする請求項1及び請求項2に記載のカード紛失・盗難事故届出処理システム

【請求項4】前記LBAプロセッサの事故処理ファイルの記録を、前記LBRプロセッサに自動返信し前記LBRプロセッサの事故届出ファイルを記録更新し、バックアップ処理を行うことで前記LBAプロセッサと相互に事故処理記録を保存する手段を有することを特徴とするカード紛失・盗難届出処理バックアップシステム。

【請求項5】コンピュータにカードの紛失・盗難届出用のプログラムを記録した記録媒体（以下LBRプログラムと称す）と、カード紛失・盗難届出受理用のプログラムを記録した記録媒体（以下LBAプログラムと称す）

であり、カード保有者より紛失・盗難の事故連絡を電話による通信手段又は、インターネット等を利用したのオンライン通信手段の何れかの通信手段により受付けた時点で、自動的に前記LBRプロセッサの事故届出ファイルに前述のカード保有者のカードナンバー等の情報とカード紛失・盗難事故の届出日時を記録し前記LBAプロセッサにオンラインで事故記録を自動送信しカード使用停止を行いカード紛失・盗難の届出を有効にさせる手段を有することを特徴とするカード紛失・盗難事故届出処理プログラムを記録した記録媒体。

【請求項6】前記カード紛失・盗難事故届出処理プログラムは、前記カード保有者が紛失・盗難時に所持していた複数枚のカードの紛失・盗難事故の連絡を電話による通信手段又はインターネット等を利用したのオンライン通信手段の何れかの通信手段により一括して受付けた時点で自動的に前記カード保有者のカードナンバー等の情報とカード紛失・盗難事故の届出日時を前記LBRプロセッサの事故届出ファイルに記録し前記LBAプロセッサにオンラインで自動送信し複数のカード発行会社のカード紛失・盗難事故届出処理を同時に行い複数枚のカード使用停止処理を行わせる手段を有することを特徴とする請求項5に記載のカード紛失・盗難事故届出処理プログラムを記録した記録媒体。

【請求項7】前記LBAプログラムは、前記LBAプロセッサが前記LBRプロセッサから受信した前記カード保有者のカードナンバー等の情報をカード発行会社の顧客登録情報と照合し一致した時点で、カード紛失・盗難事故の届出日時を有効にし、カード使用停止処理を行い、カード紛失・盗難事故の届出から使用停止処理が完了するまでの日時等を前記LBAプロセッサの事故処理ファイルに記録させる手段を有することを特徴とする請求項5及び請求項6に記載のカード紛失・盗難事故届出処理プログラムを記録した記録媒体。

【請求項8】前記LBAプロセッサの事故処理ファイルの記録を、前記LBRプロセッサに自動返信して前記LBRプロセッサの事故届出ファイルを記録更新しバックアップ処理を行わせることで、前記LBAプロセッサと前記LBRプロセッサの相互に事故処理記録を保存させる手段を有することを特徴とするカード紛失・盗難届出処理バックアッププログラムを記録した記録媒体。

【請求項9】前記カード保有者からの単数及び複数のカード紛失・盗難事故の連絡を、①電話受け付け時点にはコンピュータの音声ガイダンス応答方式による一括自動受け付けを行い、インターネット等を利用したのオンライン通信手段による受け付け時点にはオンライン接続方式による一括受け付けを行う段階と、②前記LBRプロセッサの事故届出ファイルに記録する段階と、③前記LBAプロセッサに事故記録を自動送信し前記LBAプロセッサが受信した前記カード保有者の顧客情報とカード発

行会社の顧客登録情報を照合し一致した時点でカード使用停止処理を行う段階と、④カード紛失・盗難事故の届出処理から使用停止までの記録をＬＢＡプロセッサの事故処理ファイルに記録した情報を前記ＬＢＲプロセッサに返信し前記ＬＢＲプロセッサの事故届出ファイルの記録を更新させバックアップ処理を行い前記ＬＢＡプロセッサと相互に事故記録を保存する段階までを自動的に行うことにより、前記カード保有者からのカード紛失・盗難事故の届出を迅速に確実に処理する手段を有することを特徴とするカード紛失・盗難事故届出処理方法。

【請求項１０】前記カード紛失・盗難事故届出方法は、前記カード保有者からの単数及び複数枚のカード紛失・盗難事故の連絡を受けた時点で前記①②③④の段階をコンピュータで自動的に処理する手段を有することを特徴とする請求項９に記載のカード紛失・盗難事故届出段階処理プログラムを記録させた記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】本発明は、銀行系・非銀行系のキャッシュカード・クレジットカード・デビットカード・キャッシング専用カード（以下カードと称す）の紛失・盗難時の届出をカード保有者が迅速に行うためのカード紛失・盗難届出処理システム及びカード紛失・盗難届出処理プログラムを記録した記録媒体に関する。

【０００２】

【従来の方法】図１はカード保有者が紛失・盗難事故に遭遇した時点の各カード会社への個別対応を示した一例である。

【０００３】従来カード保有者がカード紛失・盗難事故に遭遇した時点で、所持していた枚数分の各カード発行会社が個別に設けている電話受付センターへ直接電話で連絡を行うことで、紛失・盗難の届出を有効にし、カードの使用停止処理を行い第三者の不正使用による事故を防ぐ形式としている。

【０００４】また、カード発行会社はカード保有者からカード紛失・盗難事故の電話連絡を受けた時点で自社（自社系列も含む）が発行したカードの紛失等の届出に対し、カード発行会社各社が個別に対応する手段を講じているが、これはカード保有者が他社の発行するカード或いは種類の違う複数枚のカードを紛失・盗難等の事故に遭遇した場合に迅速に対応できる手段にはならない。

【０００５】カード保有者がカードの紛失・盗難事故に遭遇した場合の届出方法は電話或いは届出専用の書類提出によるものであり、それらのうちカード紛失・盗難事故に遭遇した時点での届出を行うための最も早い方法は電話連絡による届出となるが、カード発行会社の緊急連絡先電話番号を即座に探し出すことは容易ではない。

【０００６】図２はカード保有者がカード紛失・盗難時から各カード発行会社へ連絡・カード使用停止処理をす

るまでのプロセスを示した一例である。

【０００７】例えば図２に示すカード保有者が所持していたＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ各社のカードを紛失・盗難等の事故に遭遇した場合、番号案内等で連絡先の電話番号を検索することは可能だが、複数のカードを所持しているカード保有者が紛失・盗難時に所持していたカード枚数分の電話番号を検索し、図２に示すＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ各々のカード発行会社へ直接電話連絡をすることは不経済であり、図２の（１）に示す間が同時に時間を浪費することになりカード発行会社への届出を迅速に行う事が出来ないために非効率である。また、その間に第三者によって不正使用される可能性も必然的に高くなる。

【０００８】図３はカード裏面に記載されている緊急連絡先の一例である。

【０００９】カード紛失・盗難時の緊急連絡先は、図３に示すカードの裏面に印刷されておりカード保有者が紛失・盗難事故を認識した時点では届出先の連絡電話番号も同様に紛失したことになる。

【００１０】また、カード保有者は複数のカードを財布やバッグ或いは名刺入れ等の入れ物に携帯し、所持しているが、カード紛失・盗難時には、それらの入れ物ごと紛失・盗難事故に遭遇するために、紛失・盗難時に所持していた各カード会社の連絡先を即座に探し出し或いは何らかの方法を用いて検索することは時間を浪費することになる。また、カード発行会社は書面でカード紛失・盗難時の緊急連絡先をカード保有者に通知しているが、予めカード紛失・盗難の緊急連絡先を手帳等に控えて前述の入れ物以外の場所に入れて所持しているカード保有者以外、緊急連絡先を検索する必要に迫られる。

【００１１】

【発明が解決しようとする課題】日本国内及び海外旅行中に前記

【００１０】記載の入れ物ごと紛失・盗難事故に遭遇したカード保有者が直ちに所持していたカード枚数分の各カード発行会社へ事故連絡を行い、カード・紛失・盗難事故の届出処理を迅速に行いカードの使用停止までの処理時間を短縮し、第三者によるカード不正使用を防止するためには次のような解決すべく課題がある。

【００１２】各カード発行会社が自社発行（自社系列のカードも含む）のカード紛失・盗難事故の対応をすることは当然であるが自社以外の他社発行カード或いは種類の異なるカードに対しても紛失・盗難事故の連絡を受付けることが必要となる。しかしカード発行会社が自社の発行したカードの紛失盗難事故の受付以外に他社発行カード或いは種類の異なるカードの紛失・盗難事故の連絡も受け付け、事故処理の対応するために設備投資を行い、経費を負担し人員を配備することは不経済である。

【００１３】また、銀行・非銀行系の複数のカード情報を一枚に集約したカードをＡＴＭ等のキャッシング及びショッピング及びクレジット等に使用するカードも存在

しているが、これらはカード発行会社が各社で発行するカードの保有者を新たに募集する事も市場原理から考えられることであり、また前述のカードを一人に対し一枚の保有までと限定することも、複数のカード発行会社が存在する限り非現実的である。

【0014】そこでカード保有者が所持している枚数に限らずカード紛失・盗難事故の届出を一括して受け付けカード保有者に代わり、カード紛失・盗難事故の届出を代行する機関を設けることは考えられるが、その代行機関がカード保有者からのカード紛失・盗難事故の連絡を受け付け事故の届出を行うために、カード紛失・盗難事故の受付処理からカード使用停止処理までの作業を円滑で確実に処理する必要がある。

【0015】本発明は、上述の点に鑑みてなされたもので、その目的は、カード保有者が所持しているカードの枚数に限定されることなく、カード紛失・盗難事故に遭遇した時点での連絡受け付け処理からカード紛失・盗難事故の届出処理及びカード使用停止処理までを一括して自動的にを行い、迅速かつ確実なカード紛失・盗難時の届出処理システム及び届出処理プログラムを記録した記録媒体を提供することにある。

【0016】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するために請求項1の発明はカード紛失・盗難届出用の前記LBRプロセッサとカード紛失・盗難届出受理用の前記LBAプロセッサを設け、予め前記LBRプロセッサにカード保有者のカードナンバー等の情報を記録し、前述のカード保有者より紛失・盗難の事故連絡を電話による通信手段、又はインターネット等を利用したオンライン通信手段の何れかの通信手段により受け付けた時点で、自動的にLBRプロセッサの事故届出ファイルに前述のカード保有者のカードナンバー等の情報とカード紛失・盗難事故の届出日時を記録し前記LBRプロセッサから前記LBAプロセッサにオンラインで紛失・盗難の事故情報を送信し、カード紛失・盗難の届出を有効にする手段を有することを特徴とする。

【0017】ここで前記LBRプロセッサは、カード保有者が所持していた複数のカードの紛失・盗難事故届を前記

【0016】記載の何れかの通信手段により受け付けた時点で前記カード保有者のカードナンバー等の情報とカード紛失・盗難事故の届出日時を事故届出ファイルに記録し前記LBAプロセッサにオンラインで送信し複数のカード発行会社のカード紛失・盗難事故も届出処理を一括して行いカード使用停止処理を行うとしてよい。

【0018】また、前記LBAプロセッサは前記LBRプロセッサから受信した前記カード保有者のカードナンバー等の情報をカード発行会社の顧客登録情報と照合し一致した時点で、カード紛失・盗難事故の届出日時を有効にし、カードの使用停止処理を行い、前記カード

保有者のカード紛失・盗難事故の届出処理からカード使用停止処理が完了するまでの日時等を事故処理ファイルに記録するとしてよい。

【0019】請求項4の発明は前記事故処理ファイルの記録を前記LBAプロセッサから前記LBRプロセッサに自動返信し前記LBRプロセッサの事故届出ファイルの記録を更新し、バックアップ処理を行い、前記LBAプロセッサと相互に事故処理記録を保存する手段を有することを特徴とする。

【0020】請求項5の発明はコンピュータにカードの紛失・盗難届出用のプログラムを記録した記録媒体(LBRプログラム)と、カード紛失・盗難届出受理用のプログラムを記録した記録媒体(LBAプログラム)であり、前記カード保有者より紛失・盗難の事故連絡を前記【0016】記載の何れかの通信手段により受け付けた時点で自動的にLBRプロセッサの事故届出ファイルに前記カード保有者のカードナンバー等の情報とカード紛失・盗難事故の届出日時を記録し、前記LBAプロセッサにオンラインで紛失・盗難の事故情報を自動送信しカード使用停止処理を行いカード紛失・盗難の届出を有効にさせる手段を有することを特徴とする。

【0021】請求項7の発明は前記カード保有者からのカード紛失・盗難事故の届出処理からカード使用停止処理までの日時を記録した前記LBAプロセッサの事故処理ファイルの記録を前記LBRプロセッサの事故届出ファイルに自動返信して記録を更新し、バックアップ処理を行わせ、前記LBAプロセッサと前記LBRプロセッサの相互に事故処理記録を保存させる手段を有することを特徴とする。

【0022】請求項9の発明は前記カード保有者からの単数及び複数のカード紛失・盗難事故の連絡を、①電話受け付け時点にはコンピュータの音声ガイダンス応答方式による一括自動受け付けを行い、インターネット等を利用したオンライン通信手段による受け付け時点にはオンライン接続方式による一括受け付けを行う段階と、②前記LBRプロセッサの事故届出ファイルにカード紛失・盗難事故を届出した日時等を記録する段階と、③前記LBAプロセッサに事故記録を自動送信し、前記LBAプロセッサが受信した事故記録の前記カード保有者の顧客情報とカード発行会社の顧客登録情報を照合し一致した時点でカード使用停止処理を行う段階と、④カード紛失・盗難事故の届出処理から使用停止までの記録をLBAプロセッサの事故処理ファイルに記録した情報を前記LBRプロセッサに返信し前記LBRプロセッサの事故届出ファイルの記録を更新させバックアップ処理を行い前記LBAプロセッサと相互に事故記録を保存する段階までを自動的に行うことにより、前記カード保有者からのカード紛失・盗難事故の届出を迅速で確実に処理する手段を有することを特徴とする。

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を説明す

る。図4は本発明のプロセスを示す図面であり、各符号はその処理過程及び名称を示す。

【0024】図4の1に示すカード所有者がカード紛失・盗難事故に遭遇した時点で、図4の2に示すコンピュータに、電話による通信手段又はインターネット等のオンライン通信手段によりカード紛失・盗難事故の連絡を行う。

【0025】図4の2に示すコンピュータは、図4の1のカード所有者からの事故連絡が電話による通信手段である場合は音声ガイダンスによる応答方式でカード紛失・盗難の事故届を受付ける方式を行い、インターネット等の通信手段による場合にはオンライン接続方式によるカード紛失・盗難の事故届を受付ける方式を行う。

【0026】前記

【0025】記載の何れかの通信手段で事故連絡を受付けたコンピュータは、カード所有者からの事故情報を図4の2に示すLBRプロセッサシステムの図4の3に示す事故届出ファイルに記録する。ここで図4の2に示すLBRプロセッサシステムは複数枚のカードの紛失・盗難の事故連絡の場合も同様に図4の3に示す事故届出ファイルに記録する。

【0027】図4の2に示すLBRプロセッサシステムは図4の3で記録された事故情報を図4の4に示すLBAプロセッサシステムにカード紛失・盗難事故届として送信する。ここで図4の4に示すLBAプロセッサシステムは複数枚のカード紛失・盗難の事故届の場合も同様に受信する。

【0028】図4の4に示すLBAプロセッサシステムはカード紛失・盗難事故届を受信し図4の5に示すカード発行会社ホストコンピュータと接続しカード紛失・盗難を届出たカード所有者の顧客情報を照合し一致した時点でカード紛失・盗難事故届を有効にしカード使用停止処理を行う。

【0029】ここで図4の4に示すLBAプロセッサシステムが複数枚のカード紛失・盗難事故届を受信した場合も各カード発行会社のホストコンピュータと接続し前記

【0028】と同様にカード使用停止までの処理を行う。

【0030】カード紛失・盗難事故を届出たカード所有者の顧客情報とカード紛失・盗難事故届を受付けた日時とカード使用停止処理の日時は図4の4に示すLBAプロセッサシステムの図4の6に示す事故処理ファイルに事故処理記録として保存する。ここで図4の4に示すLBAプロセッサシステムは、複数枚のカード使用停止処理を行った場合も同様に図4の6に示す事故処理ファイルに事故処理記録として保存する。

【0031】図4の6で保存された事故処理記録は図4の2に示すLBRプロセッサシステムの図4の3に示す事故届出ファイルに返信され事故記録を更新しバック

アップ処理を行いLBAプロセッサシステムの事故処理ファイルと同一の記録をバックアップファイルとして保存する。

【0032】図4の3で保存されたカード紛失・盗難事故届出処理を完了した日時を記載した情報をカード紛失・盗難事故を届出た図4の1に示すカード所有者に、カード紛失・盗難事故届出処理の完了通知を送付する。

【0033】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、カード紛失・盗難届出用のLBRプロセッサシステムとカード紛失・盗難届出受理用のLBAプロセッサシステムを設け、予めLBRプロセッサシステムの顧客ファイルにカード所有者の情報を記録し、前述のカード所有者より紛失・盗難の事故連絡を、電話による通信手段又はインターネット等を利用してのオンライン通信手段により受付けた時点で自動的にLBRプロセッサシステムの事故届出ファイルに前述のカード所有者のカードナンバー等の情報とカード紛失・盗難事故の届出日時を記録させLBAプロセッサにオンラインで事故情報を送信しカード紛失・盗難の届出を有効にさせるようにしたので、カード紛失・盗難時の届出を迅速で確実に行えることが出来る。

【0034】また、本発明によれば、前記カード所有者が所持していた複数のカード紛失・盗難事故の連絡を前記

【0033】記載の何れかの通信手段により一括して受付けた時点で自動的に前記LBRプロセッサシステムの事故届出ファイルに記録し、その事故情報を前記LBAプロセッサにオンラインで送信し複数のカード発行会社のカード紛失・盗難事故の届出処理を一括して行えるので、カード所有者は所持していた枚数分の紛失・盗難事故の連絡を一ヶ所に行うだけで複数のカード紛失・盗難の届出に要する時間を短縮し第三者によるカード不正使用を防止することができる。

【0035】また、本発明によれば前記LBAプロセッサは前記LBRプロセッサから受信した前記カード所有者のカードナンバー等の情報をカード発行会社の顧客登録情報と照合し一致した時点で、カード紛失・盗難事故の届出日時を有効にし、カードの使用停止処理を行い、事故記録を前記LBAプロセッサの事故処理ファイルに記録させるので、カード紛失・盗難事故の届出からカード使用停止完了までの全ての工程を自動的にを行い完璧に処理することができる。

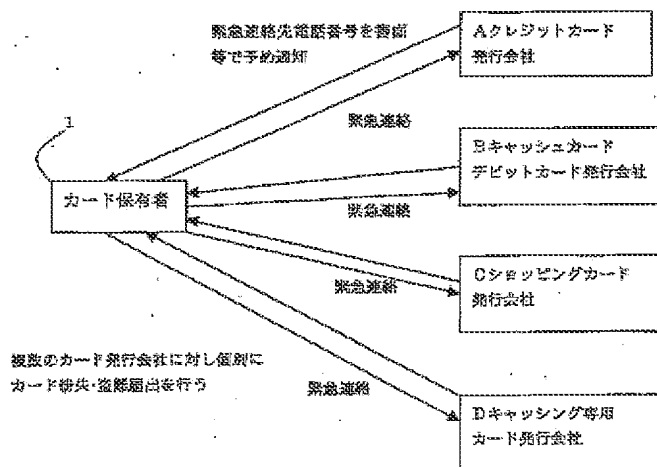
【0036】また、本発明によれば、カード紛失・盗難届出から使用停止までの処理が完了した時点で前記LBAプロセッサシステムの事故処理ファイルの記録を前記LBRプロセッサシステムの事故届出ファイルに送信し、前記カード所有者の紛失・盗難事故届出の処理日時等を更新し相互に保存させ、事故処理完了の通知を前記カード所有者に送付するため、カード発行会社とカー

ド保有者の両方で事故届の日時等の記録を正確に把握することができる。

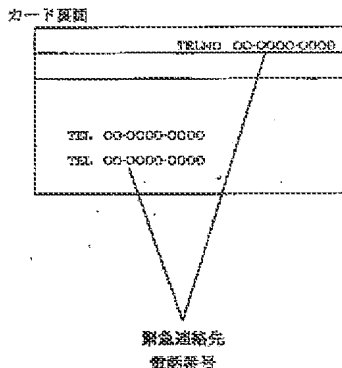
【0037】さらに前記カード保有者は、カード紛失・盗難事故を届出した日時等の記録を詳細に知ることが出来るために、万一カード紛失・盗難事故の届出完了後に第三者によってカードを不正使用され損害が生じた場合でも、前記カード保有者は自身の記憶に頼ることなく届出した日時と、カードを不正使用された日時の記録とを照合することで明確に損害額を算出することが出来る。

【0038】また本発明によれば、前記カード保有者が単数及び複数のカード紛失・盗難事故に遭遇した時点での連絡を、電話による通信手段での受付け時にはコンピュータの音声ガイダンス応答方式による一括自動受付け処理を行い、インターネット等を利用しての通信手段による受付け時には、オンライン接続方式による一括受付け処理の何れかの方法を選択することが出来るために、状況に応じて迅速で的確な手段でカード紛失・盗難事故の連絡を行うことが出来る。

【図1】



【図3】



【図面の簡単な説明】

【図1】カード保有者が紛失・盗難事故に遭遇した時点の各カード会社への個別対応を示した図面である。

【図2】カード保有者がカード紛失・盗難時から各カード発行会社へ連絡・カード使用停止処理をするまでのプロセスを示した図面である。

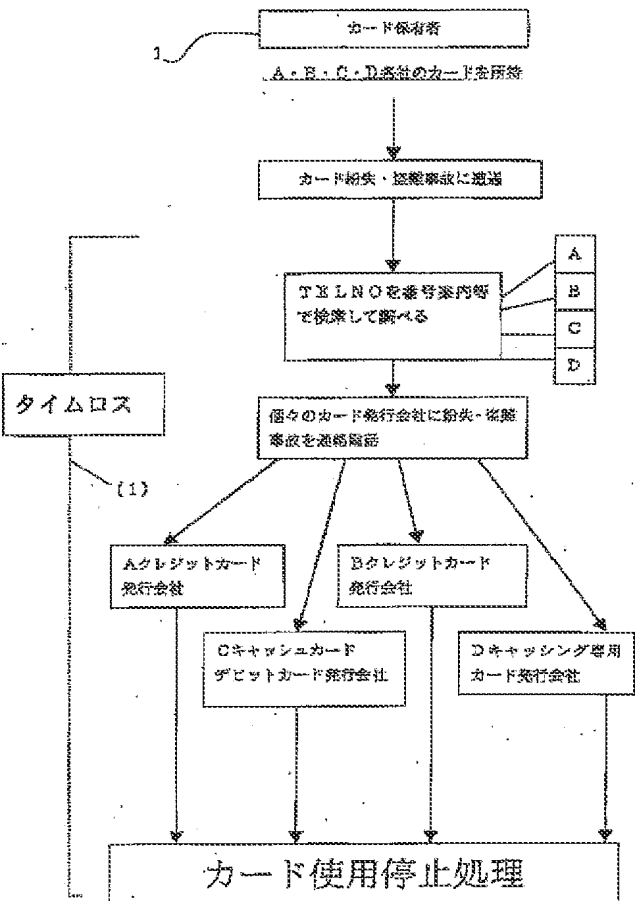
【図3】カード裏面に記載されている緊急連絡先の図面である。

【図4】本発明のプロセスを示す図面である。

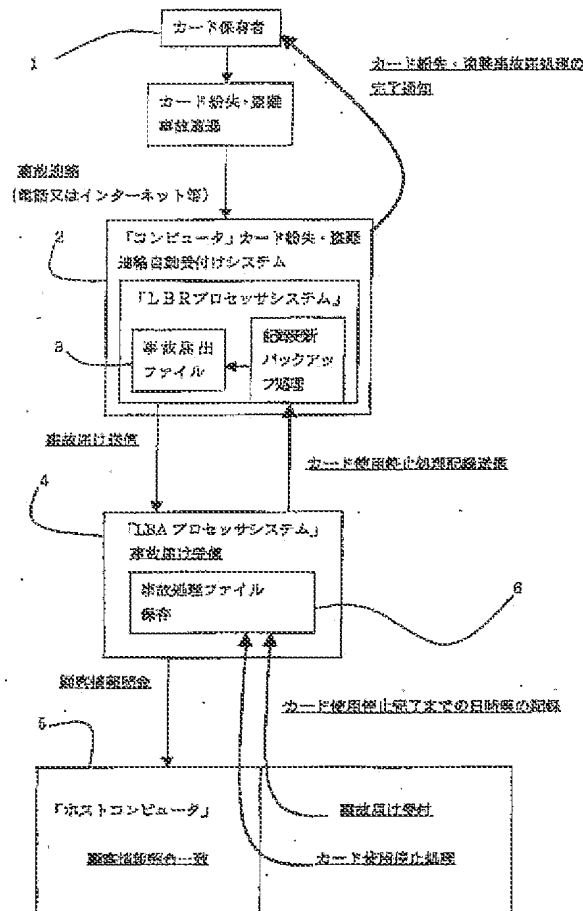
【符号の説明】

- 1 カード保有者
- (1) タイムロスを表す範囲
- 2 LBRプロセッサシステム搭載のコンピュータ
- 3 事故届出ファイル
- 4 LBAプロセッサシステム
- 5 ホストコンピュータ
- 6 事故処理ファイル

【図2】



【図4】



フロントページの続き

【発明の名称】

キャッシュカード及びクレジットカード及びデビットカード等のカード紛失・盗難時の届出を迅速に行うための、カード紛失・盗難届出処理システム及び届出処理プログラムを記録した記録媒体及び届出処理方法